

34 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

病院の概要

- **医師数 (研修医除く)** 94 名 (うち指導医数 17 名)
- **病床数** 391
- **研修医数** 1 年目 10 名 2 年目 10 名
- **昨年度マッチング受診者数** 25 名
- **研修医の主な出身大学** 産業医科大学、福島県立医科大学、秋田大学、埼玉医科大学、筑波大学、新潟大学、旭川医科大学、群馬大学、帝京大学、山梨大学、金沢大学、長崎大学、東京女子医科大学、千葉大学、島根大学、福岡大学、岐阜大学、金沢医科大学、東北大学、獨協医科大学、日本大学、順天堂大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、広島大学、弘前大学、岩手医科大学、信州大学、大分大学、国際医療福祉大学、鹿児島大学、琉球大学
- **診療科** 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、肛門外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳癌外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リウマチ科
- **1 日平均外来患者数** 420.3 名
- **1 日平均入院患者数** 379.6 名
- **主な認定施設** 救急告示病院、地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県 DMAT 指定医療機関



研修プログラムの特色

新久喜総合病院は医師が少ない埼玉県の中でも更に医師少数区域と言われている医療圏に位置しています。地域医療に取り組む環境で当院の研修医は雑用ではなく医師としての仕事を行います。プライマリケアの基本的診療能力を習得し、2 年間の経験で 1 人で診療を行い対応できる能力を身に付け、ジェネラルの対応を求められる場面でも初期診療を行える医師を目指して頂きます。また、選択科目の期間に研修医の希望によって専門の診療科での研修も行える環境です。内科・外科においては新専門医制度の基幹施設、形成外科・脳神経外科・整形外科・救急科・放射線科は連携施設として 3 年目以降を見据えた研修も可能です。救急やベッドサイドなど現場を中心として研修医自身が経験でき、よりよい研修となるように取り組んでいます。

プログラム例 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム (募集定員 10 名)

	1~4 週	5~8 週	9~12 週	13~16 週	17~20 週	21~24 週	25~28 週	29~32 週	33~36 週	37~40 週	41~44 週	45~48 週
1 年目	内科				救急科			病院必修		外科	麻酔科	精神科
2 年目	内科	地域医療	産婦人科	小児科	病院必修			選択科目				

必修: 内科 24 週、救急科 12 週、外科 4 週、麻酔科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週、産婦人科 4 週、小児科 4 週
選択: 新久喜総合病院もしくは協力病院・協力施設にて手技の習得や専門科の経験を目的とし研修医が選択する。

研修医の処遇

- 給 与 約 46 万円/月
- 諸 手 当 当直手当別途支給
- 保 険 組合健保 (巨樹の会健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険あり
確定拠出年金あり 医師賠償責任保険 (病院において加入)
- 勤務時間 8 時 00 分~17 時 00 分
- 当 直 あり (6 回/月)
- 休 暇 有給休暇 (年 10 日)、他リフレッシュ休暇あり
- 宿 舎 あり
- そ の 他 学会参加について病院補助あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・久喜ずのき病院
- ・土屋小児病院
- ・所沢明生病院
- ・鴻巣病院
- ・熊谷総合病院
- ・羽生総合病院
- ・深谷赤十字病院
- ・丸山記念総合病院
- ・芳賀赤十字病院
- ・東京品川病院
- 他、関連病院等

当院の魅力

実践の医療を経験し実力がつく研修

- 当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し幅広い common disease に対応できる力を身に付けます。2 年間で自分自身の力で診療する能力を身に付けます。
- ・ 選択科目では各専門診療科での研修を行い 3 年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っていきます。
 - ・ 研修に力を入れており、教育熱心な指導医のもと実践の医療を経験できます。
 - ・ 一般的な症例から専門領域まで研修医の希望や特性に沿った研修を行います。
 - ・ 初期研修医の裁量も大きく、経験を積みたい研修医が様々な大学から集まります。
 - ・ 上級医、指導医と日々のコミュニケーションがとれているため相談しやすい環境です。
 - ・ 症例数も豊富で積極的に手技が学べます。



研修責任者からメッセージ



信太 薫
プログラム責任者

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalist として、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。

当院の指導医は、specialist として、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalist として活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえないメンバーです。

先輩研修医からメッセージ



佐々木 淳一
研修医 1 年目

自分自身で主体的に手技や診療を経験したいとこの病院を選びました。見学した際に、研修医の裁量も大きく、他の病院以上にファーストタッチをされている姿を見て多くの経験が積めると想像でき、目指している将来像に沿った研修だと感じたことを覚えてます。同期は出身大学もバラバラで全国から集まっています。その同期と助け合いながら、競い合いながら、日々様々な症例を経験して少しでも成長できるように研修していきたいと思っています。



大友 一輝
研修医 2 年目

当初は何も分からない状況で研修がスタートし、先輩の研修医のように自分にもできるようになるのだろうか、と不安もありましたが少しずつ成長できていると感じています。当院の研修は実践的で自ら初級にあたるので他に比べてハードですし、後輩である 1 年目の研修医も私と同じように感じていると思います。その中でも率先して研修に取り組むことが大事であることを伝えていければと思います。同じ環境と一緒に頑張れる同期がいることも励みになっています。

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 【病院見学随時受付中】
- ・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。・交通費支給 (上限あり)
- 【インターンシップ受付中】
- ・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。実践型インターンシップ・宿舍利用可能

連絡先 新久喜総合病院、臨床研修担当 松永
住 所 〒346-8530 久喜市上早見町 418-1
T E L 0480-26-0033 (代表)
F A X 0480-44-8026
E-mail kukijinji@shinkuk-hp.jp
U R L http://www.shinkuk-hp.jp
アクセス JR 宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅から
バスで約 10 分

